

広報

うみ 湖海と火山と緑の大地が結び合い、
元氣をつくる交流のまち

とち湖



ワイ ラジオ
wi-radio開局

ーラジオライフを楽しもう！ー

主な内容

ワイ ラジオ

- wi-radioが4月30日に開局します.....2 p
- 4月26日 洞爺湖町議会議員選挙の投票日...3 p
- 平成27年度まちの予算.....4 p
- 役場からのお知らせ.....8 p

4月

2015年
VOL. 109



伊達市・豊浦町・壮瞥町・洞爺湖町の
コミュニティFM放送局

ワイ ラ ジ オ

wi-radioが
4月30日に開局します!



wi-radioの開局にあたって

伊達市・豊浦町・壮瞥町・洞爺湖町を放送エリアとするwi-radioが、いよいよ開局します。普段は地域の情報を取得する手段として、災害時は災害情報や避難情報を得るための手段として、多くの皆さんに活用していただけるように放送を行っていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

運営 NPO法人だて観光協会 ☎0142-25-2722

◆コミュニティFMってなあに?

コミュニティFMとは地域に密着した情報を放送するFMラジオ放送です。

◆どうして1市3町にwi-radioができるの?

伊達市まではコミュニティFMのFMびゅー84.2MHz(室蘭まちづくり放送株)を聴くことができましたが、3町ではFMびゅーや他のコミュニティFM放送を聴くことができませんでした。そこで、有珠山噴火という共通の災害をもつ1市3町で、地域に身近な情報を発信することができるとコミュニティFM放送局を開局することにしました。

◆wi-radioはどうすれば聴くことができるの?

ラジオ受信機の周波数をFM 77.6MHzにあわせると聴くことができます。

◆放送曜日・時間は?

24時間365日放送します。洞爺湖町からの情報も毎週火曜日にそれぞれ放送します。

洞爺湖町からのお知らせ
毎週火曜日 ①7時55分、
②17時47分

◆放送内容は?

放送します。

◆災害時はwi-radio・FMびゅーを聴いてください。

有珠山噴火や地震発生時、警報発令時などは、随時災害情報を放送します。

wi-radioの番組は室蘭市のコミュニティFM放送局であるFMびゅーと共同で制作するので、FMびゅーと同じ放送が流れます。そのため、1市3町の情報だけでなく、室蘭市や登別市の情報も放送されます。音楽番組や行政からのお知らせ、トーク番組など、様々な番組を放送しますので、ぜひお聴きください。

「wi-radio」放送エリア図



ウィンザーホテル送信所からの電波

◆wi-radioの放送エリア

エリア内でも放送が聴きにくい場所、エリア外でも聞こえる場所があります。

平成27年度

ま

ち

の

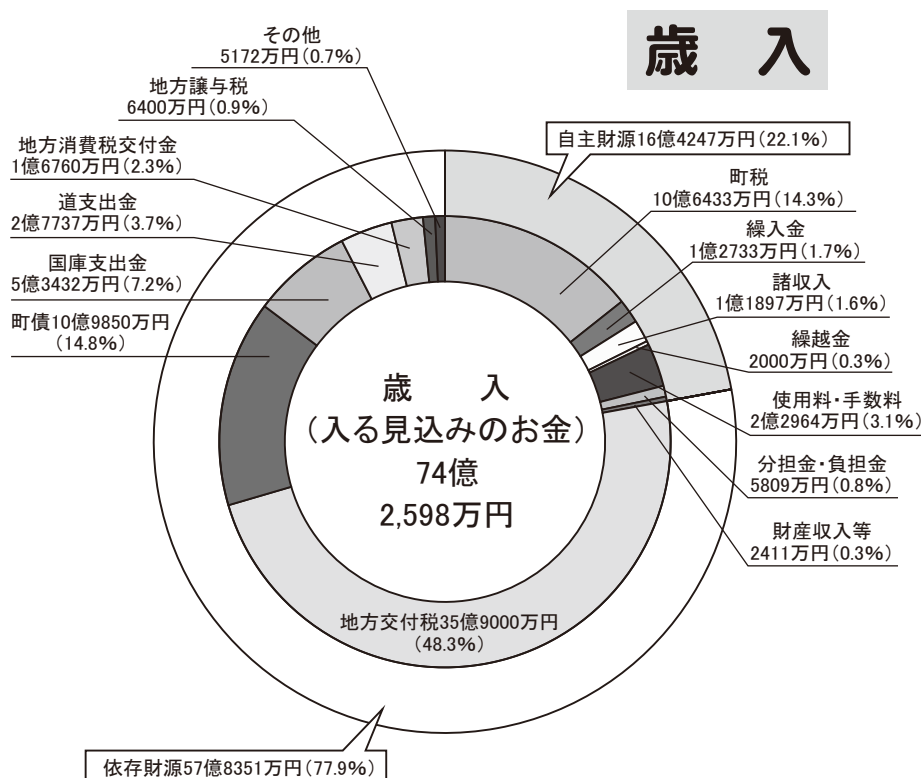
予

算



洞爺湖町議会平成27年3月会議が、3月5日から13日まで開催され、平成27年度当初予算が可決されました。

元気のある洞爺湖町の実現をめざす今年度予算の概要と重点政策を紹介します。



平成27年度 会計別予算額

(単位: 万円、%)

会 計 名	平成27年度 予 算 額	平成26年度 予 算 額	増減額	増減率
一 般 会 計	74億2598	67億6193	6億6405	9.8
特 別 会 計	38億6363	37億2144	1億4219	3.8
国民健康保険	17億4934	15億9172	1億5762	9.9
公共下水道事業	8億1422	8億6608	△5186	△6.0
介護保険	10億3716	10億 475	3241	3.2
簡易水道事業	1億 875	9318	1557	16.7
後期高齢者医療	1億5416	1億6571	△1155	△7.0
水道事業 会 計				
収益的収支	3億2709	3億2275	434	1.3
資本的支出	1億8276	3億9074	△2億 798	△53.2
合 計	117億9946	111億9686	6億 260	5.4

用語解説

*** 一般会計 *** 町の会計の中心となるのが一般会計です。行政運営の基本となる経費の全てを計上したもので、町行政の目的を達成するために必要な経費を経理する会計です。行政サービスのほとんどが、一般会計で賄われています。

*** 特別会計 *** 特別会計は、町が特定の事業を行う場合その他特定の収入を特定の支出に充て一般の歳入歳出と区分して経理する必要がある場合など、一般会計と分けて町が条例で設置することができる会計のことを言います。洞爺湖町には、国民健康保険、公共下水道事業、介護保険、簡易水道事業、後期高齢者医療の5つの特別会計があります。

*** 企業会計 *** 企業会計は、独立採算性を原則とする、一般的には、株式会社等の民間企業における会計をいうもので、民間企業に近い事業を行う場合に設置される会計で水道事業会計がこれに該当します。

予算編成の考え方

平成27年度当初予算は、次世代につながる推進すべき優先度の高い施策に重点的に予算を配分しました。

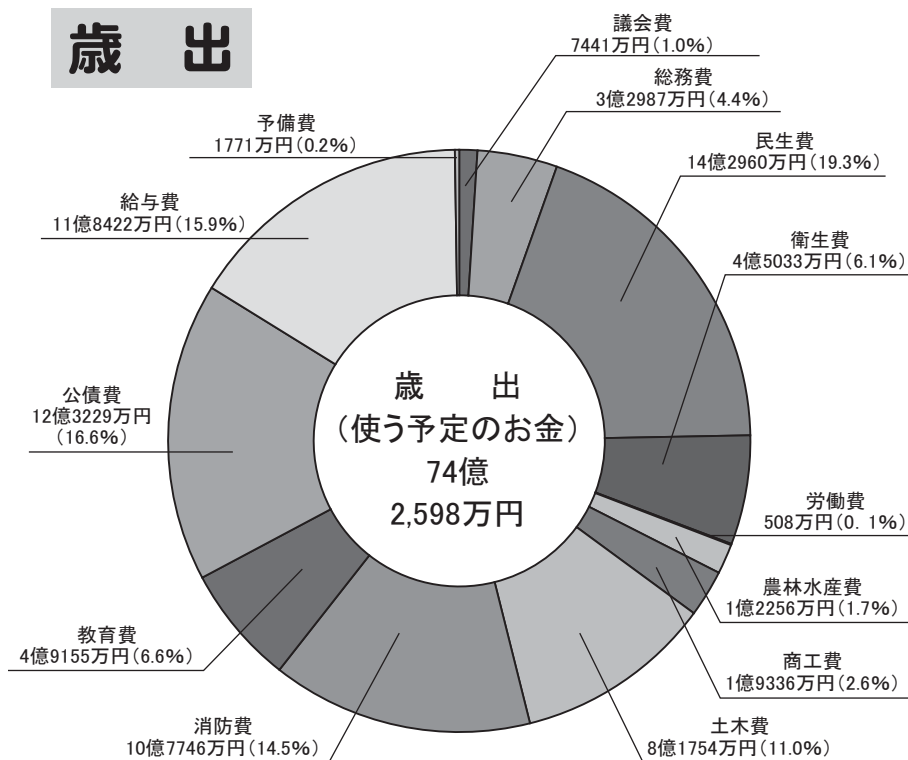
1点目に、安全・安心のための防災・減災対策として、これまで未整備の洞爺地区を含め、町全域で防災情報の伝達体制を確立するための防災行政無線デジタル化整備事業を実施します。さらに西胆振消防組合が実施する消防・救急デジタル無線の整備、通信指令台の一元化整備及び老朽化した消防洞爺出張所の建替えとなる消防施設等整備事業で、西胆振消防組合に対して負担金を新たに計上しました。

2点目は、子育て支援対策として、医療費助成事業の対象年齢を拡大し、中学生以下の医療費を無料化する乳幼児等医療費助成事業を新たに計上しました。

継続分としては、学校耐震化事業、虻田漁港大磯分区分整備事業、海岸通整備事業などを昨年度から引き続き予算を計上しました。

これらにより、一般会計予算額は、74億2,597万6千円

歳出



(前年当初比9・8%増)、特別会計、水道事業会計を含めた

全会計予算総額は、平成26年度と比較し6億2,597万4千円、

5・4%増額の11億7,994万5千円としました。

歳入では、固定資産の評価替えにより固定資産税の減額を見

込んだことから、町税収入全体で対前年度2・9%の減額とし

ました。地方交付税については、普通

交付税で前年度の交付実績から3・3%の減額を見込みました。

繰入金は、昨年度実施した水道硬水対策事業に対する基金からの繰入金の減により、対前年度

59・3%の減額としました。歳出では、財政健全化に向けた行財政改革による経常経費の

地方債 (借金) の残高

(単位:万円)

会計別	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (見込)	平成27年度 (見込)
一般会計		116億6553	107億5620	102億1635	95億2111	95億1459
公共下水道事業 特別会計		45億9895	43億3251	40億7370	38億1662	36億1615
簡易水道事業 特別会計		6億2876	5億8304	5億3964	5億26	4億8563
水道事業会計		8億5795	8億3916	8億2708	8億264	8億2573
合計		177億5119	165億1091	156億5677	146億4063	144億4210

基金 (貯金) の残高

(単位:万円)

会計別	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (見込)	平成27年度 (見込)
財政調整基金		9億3934	10億	11億4882	8億7400	7億7516
減債基金		1億267	9955	1億274	1億279	1億284
その他特 定基金		11億2413	1億269	15億2646	13億648	12億8661
合計		21億6614	15億2553	27億7802	22億8327	21億6461

※歳入不足を補てんするために使用することができる基金は、財政調整基金と減債基金である。

抑制を引き続き行い、人件費や公債費などの義務的経費は減額となりましたが、社会保障関連経費の増額や防災行政無線デジタル化整備事業など、普通建設事業の拡大を当初予算に計上したことが主な増額の要因となりました。

財政健全化団体から脱却し、財政指標は徐々に改善傾向にあ

ります。地帯経済の動向や町の財政状況を判断する指標は依然として厳しい状況にあることから、平成28年度以降も引き続き、事務事業の見直しによる経常経費の抑制に取り組みながら、持続可能な財政基盤の確立を目指すことを基本的な考え方として、当初予算を編成しました。

なお、平成26年度の国の補正

予算を活用し、3月補正予算で計上した地域住民生活等緊急支援のための交付金事業については、新年度予算と併せた一体的な事業として進めていきます。

一般会計

一般会計予算額は、74億2597万6千円で、対前年度9・8%の増となりました。

歳入における町税、地方譲与税、地方消費税交付金、地方交付税等を合わせた経常一般財源は、49億514万1千円で、対前年度3・3%の減であり、町税、普通交付税の減が主な要因となりました。

歳出における人件費、扶助費、公債費の義務的経費は、対前年度2・1%の減となりました。

投資的経費のうち普通建設事業は、対前年度104・5%増の8億3777万9千円で、主な内訳は、防災行政無線デジタル化整備事業、虻田漁港大磯分区分整備事業、海岸通整備事業、洞爺2号線歩道新設事業、虻田中学校耐震化事業、高砂貝塚保存整備事業などを計上しました。ソフト面においては、子育て支援対策として、中学生以下の

医療費を無料化にする乳幼児等医療費助成事業を新たに実施するほか、昨年度から本町地区で実施しております「一時預かり保育」を子育て支援センターとの連携により、平成27年度からは、洞爺湖温泉地区、洞爺地区においても拡大して実施いたします。

産業振興策としては、エゾシカ等有害鳥獣の被害対策、農業の6次産業化に向けた検証、自然環境に対して負荷の少ない生分解性マルチ普及拡大事業やウ二種苗放流事業に対する補助など農林水産業の振興施策に加え、ふるさと納税を活用した地域特産品のPRや販路拡大による商工振興の推進に向けた取組みにも支援を行います。

また、観光振興策については、引き続き観光関係団体、観光事業者、町民、行政が協働のうえ、おもてなしの心が満ちた洞爺湖町を実現するため各種事業、イベント開催によるまちづくりに対応しても積極的に支援を行うほか、旅客誘致対策の強化、洞爺湖有珠山ジオパークなどの恵まれた地域資源を活かしたまちづくりにも取り組んでまいります。

特別会計

国民健康保険特別会計は、共同事業拠出金の伸びにより増額、介護保険特別会計は、介護サービスなど保険給付費の伸びにより増額、公共下水道事業特別会計は、長寿命化計画による下水道建設費の縮小により減額、簡易水道事業特別会計は、配水池改修工事により増額、後期高齢者医療特別会計は、保険給付費が減ったため減額となりました。5つの特別会計を合わせた予算総額は38億6362万2千円となり、前年度からみて3・8%の増額となりました。

水道事業会計

水道事業会計は、収益的収支が3億2709万7千円で、営業外収入の増により対前年度1・3%の増額となりました。資本的支出は1億8276万2千円で、水道硬水対策事業の減により対前年度53・2%の減額となりました。

一般会計の主な事業

議会費

7441万円

◆議会広報事業（年4回発行）
……131万円

総務費

3億2987万円

◆公共施設撤去事業……230万円
◆公共施設LED整備事業……822万円
◆公有財産購入事業……730万円
・ネイパル洞爺の公宅購入経費
・ふるさと寄附金事業……1058万円

民生費

14億2960万円

◆福祉灯油給付事業……253万円
・老人、重度心身障害者、ひとり親世帯等の生活困窮者に対する灯油の助成
◆乳幼児等医療費助成事業……1140万円
・中学生以下の医療費助成（無料化）経費

衛生費

4億5033万円

◆救急診療体制等支援事業……2300万円
・洞爺協会病院の救急診療体制等を支援するための補助
◆各種健診事業……1958万円
・基本健診、結核・がん、妊産



3万円以上の寄附の方への返礼特産品（あか毛和牛）

婦・乳幼児対策事業などにかかる経費



基本健診

◆脳ドック検診事業……150万円

労働費

509万円

◆冬期就労対策事業……209万円

農林水産業費

1億2256万円

◆6次産業化推進検討会運営事業……10万円

◆生分解性マルチ普及拡大事業補助……175万円

◆多面的機能支払事業補助……2127万円

◆有害鳥獣捕獲対策推進事業……413万円

・エゾシカなど有害鳥獣の捕獲に従事するハンター雇用など

にかかる経費

◆町有林整備及び造林推進事業……237万円

◆ウニ種苗放流事業補助……30万円

◆虻田漁港（大磯分区）整備事業負担金（道負担金）……1500万円



整備を行っている虻田漁港

商工費

1億9336万円

◆地域おこし協力隊活動事業……928万円

・地域外の人材を誘致し地域協力活動に従事する経費

◆洞爺湖温泉地熱資源活用事業補助……150万円

◆文化センタートイレ改修事業……800万円

◆洞爺湖有珠山ジオパーク推進事業……379万円

◆アイアンマン・ジャパン北海



世界の鉄人がそろうアイアンマン・ジャパン北海道大会

土木費

8億1754万円

道大会補助……1000万円
・寄附金を財源とした大会運営に対する補助事業

◆洞爺2号線歩道新設工事……3863万円



洞爺2号線

◆海岸通り（2期工事）整備事業……1億7805万円
◆橋梁長寿命化修繕事業……1

620万円

・橋梁長寿命化計画に基づく修繕工事経費

◆道路ストック総点検事業……360万円

消防費

10億7746万円

◆消防無線デジタル化・通信指令台整備負担金……1億4242万円



消防無線

◆消防洞爺出張所整備負担金……2億5300万円

◆防災行政無線デジタル化整備事業……3億7595万円

◆地域コミュニケーションFM整備事業負担金……210万円

◆自主防災活動交付金……40万円

教育費

4億9155万円

◆基礎学力向上支援員配置事業……762万円

・基礎学力向上のため小・中学校に支援員を配置

◆小中学校特別支援教育支援員・介護員配置事業……2644万円

◆スクールバス購入事業……165万円

◆虻田中学校校舎・体育館耐震化工事……6100万円



耐震化工事をする虻田中学校体育館

◆洞爺高校閉校記念協賛会補助……160万円

◆高砂貝塚保存整備事業……4895万円

公債費

12億3229万円

・過去に借入れた町債（借金）を返済する費用（元利、利子）など

給与費

11億8422万円

・職員等の給与、共済費などを支払う費用

こんなときには届出が必要です

■問合せ
室蘭年金事務所
(お客様相談室)
☎0143-50-1004
住民課住民・戸籍
年金グループ
☎74-3002

届出が必要なとき	異動の内容
20歳になったとき (厚生年金や共済年金加入者を除く)	第1号被保険者となります。
退職したとき (厚生年金や共済年金加入者の場合)	第2号被保険者から第1号被保険者になります。 (第3号被保険者に該当する場合を除く。)
配偶者に扶養されていたが、配偶者が厚生年金、共済年金を辞めたとき	第3号被保険者から第1号被保険者になります。

国民年金は、日本に住む20歳以上60歳未満のすべての人が加入しなければならない制度です。届出は加入するときだけでなく、被保険者種別が変わったときにも必要です。

左記に該当するときは、印鑑・年金手帳を持参のうえ、洞爺湖町役場5番窓口へ届出をしてください。

もし、届出をされなかった場合、年金額が少なくなったり受け取れない場合もあります。

一般入浴料金改正します

■問合せ
健康福祉課福祉
高齢者グループ
☎74-3001

平成26年8月に公衆浴場法の一部改正により公衆浴場料金が改正されました。

洞爺湖町でも5月1日から一般入浴料金を次のとおり改正しますので、お知らせします。

■改正内容

一般入浴料金(大人)
現行料金420円から440円になります。

なお、5月1日以降、旧券(420円券)につきましては、旧券と差額の20円を各入浴施設に支払うことで利用できます。

■その他

小学生・幼児については、今までの料金から変更はありません。

ただし、洞爺いこいの家のみ、洞爺湖町に住民登録されている幼児(小学校就学前の幼児)は、無料利用証を提示することで無

料となります。

無料利用証については、健康福祉課、温泉支所、洞爺総合支所で交付します。

町営住宅入居募集

■問合せ
建設課建築・住宅
グループ
☎74-3007

洞爺湖町では、住宅に困窮されている方のために、町営住宅を提供しています。

現在、公営住宅に若干の空きがありますので、入居を希望される方は、建設課へ連絡してください。

公営住宅に入居する際は、資格要件などがありますので、詳細については、建設課へ問合せください。

空き状況については、毎月、洞爺湖町ホームページでも掲載しています。

プレジャーボート 漁港利用(係留) 者募集

■問合せ
産業振興課水産・
商工グループ
☎74-3005

虻田漁港は、北海道管理条例により係留できるプレジャーボート数は40隻となっています。今回1隻の空きが出ましたので係留希望者を募集します。

利用優先順位(ポイント制)が定められており、高ポイント者が優先となります。同ポイントの場合は抽選となります。

受付期間は、4月16日～30日まで。利用期間は、5月15日～平成28年3月31日までとなっています。

詳細は、産業振興課まで問合せください。

行政に関わるくらしの無料相談会開催

■問合せ
住民課住民・戸籍
年金グループ
☎74-3002

相続手続き、遺言書の作成や、契約手続き、また官公署に提出する書類の作成などの相談に応じます。相談のある方は、事前に予約してください。

■日時 4月18日(土) 9時30分～12時

■場所 役場3階303会議室

■申込み 北海道行政書士会室

■主催

蘭支部(☎76-3538 担当後藤)／住民課住民・戸籍年金グループ(☎74-3002)
北海道行政書士会室
蘭支部

無料法律相談会開催

■問合せ
住民課住民・戸籍
年金グループ
☎74-3002

金銭、相続、夫婦間、交通事故、消費者問題のトラブルなどの相談に応じます。

必ず2日前の17時までに事前予約してください。

■日時 ①4月16日(木) ②5月7日(木) 13時30分～15時

■場所 ①虻田ふれ合いセンター ②洞爺総合センター

■担当 ①林 正樹弁護士(伊達噴火湾法律事務所) ②八木橋俊輔弁護士(のぼりべつ法律事務所)

洞爺湖町人事異動

(4月1日付)

■町長部局

【部長職】▷総務部長兼税務財政課長（総務部長兼住民課長）遠藤秀男▷経済部長（税務財政課長）伊藤里志▷洞爺総合支所長兼洞爺総合支所庶務課長（洞爺総合支所副支所長）大西康典

【次長職】▷総務部次長兼住民課長（観光振興課長兼洞爺湖温泉支所長）澤登勝義

【課長職】▷観光振興課長兼洞爺湖温泉支所長（洞爺湖温泉観光協会派遣）佐々木清志▷建設課長（上下水道課長）八反田 稔▷環境課長（上下水道課主幹）若木 渉▷上下水道課長（建設課主幹）篠原哲也▷会計課管理者（会計課主幹）田仲喜美江

【課長補佐職】▷環境課主幹（環境課主査）尾崎文郎▷上下水道課主幹（洞爺総合支所農業振興課主幹）唯木浩明▷洞爺湖温泉観光協会派遣（税務財政課主査）高橋秀明

【係長職】▷健康福祉課主査（教育委員会管理課主査）高橋憲史▷健康福祉課主査（健康福祉課主任）黒澤博美▷総合支所庶務課主査（上下水道課主査）天羽賢司▷会計課主査（税務財政課主査）藤川安永

■教育委員会部局

【課長補佐職】▷管理課主幹（健康福祉課主幹）佐藤 融▷管理課主査（管理課主任）飛岡みどり▷社会教育課主査（住民課主査）野呂圭一▷入江保育所所長（入江保育所副所長兼統括保育所副所長）山本幸子

【併 任】▷北海道教育委員会後志教育局教育支援課社会教育主査（社会教育課主査）木幡淳史

■農業委員会部局

【課長職】▷農業委員会事務局長（洞爺総合支所農業振興課主幹兼農業委員会事務局長）片岸昭弘

【係長職】▷洞爺総合支所農業振興課主査兼農業委員会主査（洞爺総合支所農業振興課主査）八子知行

■退職（3月31日付）

▷経済部長兼建設課長 森 寿浩▷環境課長 室田米男▷洞爺総合支所庶務課長 藤川栄治▷企画防災課主査 小林真奈美▷議会事務局主任 猪股幸子▷入江保育所所長兼統括保育所長 相馬優子▷入江保育所保育士主任 長谷川幸子▷本町保育所保育士 荒谷優里

平成27年度洞爺湖町育英資金の基金「入学時給付金」希望者の二次募集

■問合せ
教育委員会管理課
☎74-3009

洞爺湖町育英資金の基金では、入学時に必要となる一時金を支給する「給付金」制度を設けていますので、希望者を次のとおり募集します。

1、募集対象者

国内の高等学校、中等教育学校（後期課程に限る）、高等専門学校、専修学校及び大学に入学を許可され、学業が優秀で素行善行で、学校長の推薦する学生

※1世帯で、学資金及び入学一時金、入学時給付金の育英資金を重複して利用することも可能です。給付金は返済の必要はありません。

2、給付の区分及び金額（入学時）

- ①高等学校及び中等教育学校（国公立）……50、000円
- ②高等学校及び中等教育学校（私立）……50、000円
- ③高等専門学校……50、000円
- ④専修学校及び大学……100、000円

3、給付条件

①同居して収入のある世帯員すべての収入金額の合計が表の

入学時給付金の対象となる世帯数別の収入金額の目安

世帯員数	基準金額	参考例示
2人世帯	184万円以下	母又は父＋子
3人世帯	235万円以下	父＋母＋子
4人世帯	270万円以下	父＋母＋子2人
5人世帯	300万円以下	父＋母＋子3人
6人世帯	353万円以下	父＋母＋子4人
7人世帯	399万円以下	父＋母＋子5人
8人世帯	435万円以下	父＋母＋子6人

世帯員数欄の基準金額以下（生活保護基準額の1・1倍以下目安）であること②給付した育英資金は返済不要

4、申込み手続と提出先

申込み手続（必要書類）

ア. 洞爺湖町育英資金申請書（その2）

イ. 合格通知書

ウ. 在学していた学校の学校長推薦調書（その2）

エ. 過去2年間の学業成績証明書

オ. 収入のある世帯員全ての平成26年分収入のわかる書類（源泉徴収票または確定申告書の写し）

カ. 健康診断書（26年度において学生でなかった方だけ提出が必要）

キ. ア、ウ、カの書類は、教育委員会、洞爺湖温泉支所、洞爺総合

提出先

〒049-5692

洞爺湖町栄町58番地 洞爺湖町教育委員会管理課学校教育グループ ☎74-3009

5、給付者の決定

洞爺湖町育英資金運営委員会で選考・決定します。

合 格

合 格

合 格

合 格

合 格

合 格

合 格

合 格

合 格

合 格

合 格

合 格

合 格

合 格

合 格

合 格

合 格

合 格

合 格

合 格

合支所に置いてあります。

■申込み期限

4月24日（金）まで（消印有効）

提出先

〒049-5692

洞爺湖町栄町58番地 洞爺湖町教育委員会管理課学校教育グループ ☎74-3009

5、給付者の決定

洞爺湖町育英資金運営委員会で選考・決定します。

合 格

合 格

合 格

合 格

合 格

合 格

合 格

合 格

合 格

合 格

合 格

合 格

合 格

合 格

合 格

合 格

合 格

合 格

合 格

合 格

合 格

合 格

合 格

合 格

合 格

合 格



軽やかなステップで踊る洞爺湖フォークダンスサークル

第30回 洞爺湖町ふれ合う心の文化広場（洞爺湖町文化団体協議会主催）が、3月8日

洞爺湖文化センターで開かれました。町内の他伊達、登別などから合わせて20団体が参加し、歌、踊り、楽器演奏などが披露され、観客らを楽しませました。

オープニングは、清水友愛の里「風雅」の琴演奏。引き続き、太極拳、民謡など多彩な出し物がステージで繰り広げられました。

フィナーレは、今年も洞爺湖小唄音頭保存会による「洞爺湖音頭」で、会場を大いに盛り上げました。

活動の成果を発表 ふれ合う心の文化広場開く

読み聞かせ、ゲームで楽しむ 図書まつり

3月7日、図書まつり（教育委員会主催）が、洞爺総合センター図書室で開催され、10人の児童たちが参加し読み聞かせなどを楽しみました。

最初に「うまれたてのいろ」など絵本3冊の読み聞かせを、たんぽぽの会の皆さんが行い、引き続き紙飛行機作りや、折り紙など紙を使った遊びを行いました。

最後に別室に移動して、人気テレビアニメ「あらしのよるに〜ひみつのともだち〜1」のDVDを鑑賞しました。



折り紙で遊ぶ児童たち

児童らは、様々な事件を乗り越えて強い絆で結ばれていくストーリーに集中して見ていました。

体幹トレーニングを実技指導 スポーツ指導者の講習会

スポーツ指導者などを対象にしたスポーツ指導者講習会が、3月14日あぶた体育館で開催されました。町内や近隣市町の体育協会員、スポーツ推進委員、スポーツ少年団関係者など66人が参加して、実技研修に熱心に取り組みました。

講師は、日本トレーニング指導者協会特別トレーニング指導者の津田達也氏。

体幹トレーニングとコーディネーショントレーニングに



体幹のトレーニングを受講するスポーツ指導者たち

ついてリズム能力、バランス能力、変換能力などを鍛える運動を実技指導しました。



洞爺湖のヒメマスの現状を聴く参加者たち

洞爺湖のヒメマス資源の現状と将来展望について考える洞爺湖ヒ

メマスフォーラムが、3月20日役場防災研修ホールで開催され、洞爺湖漁業協同組合員、遊漁者、行政関係など約30人が参加しました。

現状報告として、上田宏氏（北海道大学北方生物圏フィールド科学センター洞爺湖臨湖実験所所長）、松石隆氏（北海道大学大学院水産科学研究院准教授）、中島美由紀氏（北海道立総合研究機構さけます・内水面水産試験場）の各研究者から研究の成果を発表。「ヒレ切り放流をやり、天然と放流を分かるようにする」「放流個体数を正確に把握する」などが今後の課題として出されました。

資源の現状と課題を報告 洞爺湖ヒメマスフォーラム



まちのわだい

春節を祝う交流会 洞爺湖日本中国友好協会開催

2月4日(水)、洞爺湖日本中国友好協会(長崎良夫会長)が、春節(旧正月)を祝う交流会を洞爺観光ホテルで開催しました。

会員7人と洞爺湖町在住の中国、台湾の方7人、合わせて14人が参加。

当日は中国の春節で食べるという水餃子を味わいながら、「年男・年女は厄除けのために赤いものを身に着ける」「中国や台湾でもお年玉をもらう」など、春節の伝統やそれぞれの地域での祝い方について学び、漢字を使ったゲームなどを通して参加者同士の交流を深めました。



参加した皆さんで記念撮影

外国人観光客にもてなしの心を伝えようと、洞爺湖温泉の観光



英会話を学ぶ観光関係者

関係者を対象にした英会話講座が、洞爺湖観光情報センター内の町民ホールで開催されました。

外国人観光客の増加に伴って、洞爺湖町が昨年から実施しているもので、今回は、2月3日、23日、3月9日の3回にわたって開催。のべ24人が受講し、実際の現場で必要な会話などを学びました。

講師は、英国青年ボランティアのスティーブン・アシャーさん、カルビン・ホジソンさんの2人で、日常の接客業務で使える英会話などをわかりやすく指導しました。

外国人観光客におもてなし 観光関係者英会話学ぶ

平成26年度
冬季レクリエーション大会
(洞爺湖町自治会連合主催)が、



ゲートゴルフを楽しむ参加者の皆さん

2月28日香川コミュニティセンター 体育館で行われました。冬の運動不足を解消しようと会員約120人、16チームが参加しゲートゴルフを楽しみました。同競技は、5人が1チームとなり、3分先にあるゲートを通り、更に3分先に90秒間隔に刻まれたラインの停止した地点で競い合うものです。

ゲートを通りできない人や高得点で笑顔の人など大いに盛り上がりました。成績は次のとおり。

優勝 成香自治会Aチーム 準優勝 成香自治会Bチーム

ゲートゴルフで親睦交流 冬季レクリエーション大会

MISKY。2連覇達成 昭和新山国際雪台戦大会

昭和新山国際雪台戦大会が、2月28日、3月1日の両日、昭和新山山麓で開催され、レディースの部で町内チーム「MISKY。」(阿部博之監督)が、昨年に続き優勝し、2連覇を達成。最優秀選手賞にも、同チームの小林ゆきさんが受賞し、阿部監督も、選手の時代を含め7年連続表彰台という新たな記録を作りました。

同監督は「厳しい練習を重ねてきた選手たちに優勝してもらいたかった。2連覇できて本当にうれしい」と素直に優勝を喜んでいました。一般の部(男子)の「AS・SC」は、準決勝まで進出しましたが、惜しくも3位に終わりました。



優勝を喜ぶMISKY.のメンバー

まちのわだい



	優良（30分）	一般（60分）	違反（120分）	初回（120分）
5月	8日（金）13:30～/19日（火）13:30～	8日（金）19:30～	13日（水）18:30～	19日（火）14:30～

③携帯電話、非常食、水、熊鈴、笛を携帯する。（水、笛は、笹でさまようとのどが渇き、声を出せなくなるため）
④迷ったときは落ち着いて行動する。（体力の消耗を抑える、発見されやすい場所を探す）
■新入学期の交通事故防止
―ひとりでも まもるよ―
やくそく みぎひだり―
■お子さんへ
新学期が始まり、学校や幼稚園に初めて通うことになったお友達がたくさん歩いていきます。お兄さんやお姉さんは、道路を渡ったり歩道を歩くときは、ルールを守り、新入生のお手本になりましょう。

山菜採りによる事故防止
―山菜採り―
無我夢中に 落とし穴―
例年、山菜の愛好家が行者ニンニクやタケノコ採りのために入山し、道に迷ったり、沢に転落する事故が起きています。慣れた山でも、油断すると「危険な落とし穴」があることを忘れないで、山菜採りを楽しめましょう。

伊達警察署から
☎22-0110

暮らし

information

お知らせ



4月1日からフロン排出抑制法が施行

オゾン層の破壊と地球温暖化の原因となるフロン類の排出抑制を一層強化するため、フロン排出抑制法（改正フロン法）が4月1日から施行されました。業務用冷凍冷蔵・空調機器をお使いの事業者の方には、フロン類の漏えい防止のための適切な設置、点検、故障時の迅速な修理などが義務づけられます。制度の詳細は、環境省ホームページ（<http://www.env.go.jp/seisaku/list/ozone.html>）をご覧ください。

問合せ 北海道胆振総合振興局環境生活課（☎0143-24-9575）／北海道環境生活部地球温暖化対策室（☎011-204-5189）

自衛官募集 相談員の紹介

自衛官志願に関心を持っている方は、次の募集相談員に相談ください。

催し

春を楽しむ会 ―月浦森林自然公園

みんなで春の自然観察に行こう。芽吹きはじめた草花の新しい発見があるかも……

■日時 5月8日（金）9時30分～正午現地集合（公園駐車場）荒天中止

■場所 月浦森林自然公園
■持ち物 飲み物、長靴、手袋など天候に合わせて歩きやすい服装

■主催 NPO法人地域自然活動センター・森・水・人ネット／いきいき教室（青木 ☎76-3589）

緩和ケア ボランティア講座

洞爺湖温泉病院ホスピス緩和ケア病棟でボランティアとして活動しませんか。

▽島村昌明さん ☎76-2140
▽三浦和則さん ☎75-2111
▽金子 建さん ☎76-2239
▽千葉 薫さん ☎76-2806



故西代敬一さん
■2月23日死去
■87歳 ■遺族は恵子さん ■洞第4



故秋山英子さん
■2月11日死去
■85歳 ■遺族は梅雄さん ■美沢西



故田中 優さん
■2月4日死去
■73歳 ■遺族は美恵子さん ■虻6区



故菖蒲川 忠さん
■2月1日死去
■85歳 ■遺族は進さん ■財田

心からおくやみ
申しあげます

	優良（30分）	一般（60分）	違反（120分）	初回（120分）
4月	28日(火)13:30～	17日(金)14:30～	28日(火)14:30～	13日(月)18:30～

洞爺湖芸術館からののお知らせ ☎87-2525

◇史跡めぐりアートへのお誘い

洞爺湖町近隣の史跡をバスでめぐる「史跡めぐりアート」を実施します。今回は有珠の「善光寺」と「歴史公園」です。

- 日 時 5月9日(土) 9時出発
- 集合場所 洞爺湖芸術館前庭
- 参加費 200円（宝物殿入館料）
- 定員 25人
- 申込み 4月30日(木) 締切り

◇春の特別展「グラスリッツェン絵画」展

グラスリッツェンは、ダイヤモンドペン（ペンの先端にダイヤモンドがついている工具）を使ってガラスに模様を描くヨーロッパの伝統工芸技法。同技法の新分野を開拓した増子美恵子さんの展示会です。

- 日 時 4月28日(火)～5月24日(日)
- 開 館 10:00～17:00
(月曜休館、月曜が祝日の場合は翌日)

グラスリッツェン体験ワークショップ

- 日 時 5月10日(日) 午前の部 10時半～12時／
午後の部 13時30分～15時
- 定員 各8名
- 費用 500円（材料費込み）
※定員になり次第受付終了

船内見学会見学者募集

5/13 (水) ぱしふいっくびいなす
10時00分～11時00分
室蘭港中央埠頭
旅客船バース
定員80名



5/29 (金) ボイジャー・オブ・ザ・シーズ
13時30分～14時30分
室蘭港崎守ふ頭第6バース
定員50名

■応募方法 記入例にならない、必要事項を記入し、ハガキか封書で応募してください。1通で5名まで応募可能です。乳幼児も一人とします。

■締 切 4月22日(水) 必着

< 記入例 >

- 参加者全員（5名まで）の
- ①氏 名（ふりがな必須）
- ②住 所
- ③電話番号
- ④生年月日
- ⑤性 別
- ⑥身分証明書の種類と番号
- ⑦見学希望船名

■注意事項 ①記入漏れ・不備は無効②応募数が定員を超えた場合は抽選③当選者のみ郵送で通知④当選権利の譲渡は不可⑤船内の階段の昇降ができる人⑥身分証明書（ぱしふいっくびいなす）かパスポートまたは運転免許証（ボイジャー・オブ・ザ・シーズ）が必要⑦船側の都合で寄港中止の場合有り

■申込み 〒051-0022
室蘭市海岸町1丁目20番地30
室蘭市港湾部総務課振興係
☎0143-22-3191

心の健康相談

- 日時 5月28日(木) 14時～15時30分
- 場 所 洞爺温泉病院5階会議室
- 内 容 医師・看護師・栄養士・リハビリ・ボラティアの方からの説明
- 参加費 無料
- 問合せ 洞爺温泉病院医療相談室 八中山・☎87-2311（代表）

子どもふるさと体験あそび講座

小学生を対象に、遊びながらジオパークを中心に地域の魅力や楽しみ方を様々な体験を通して

- 場 所 伊達市保健センター 室蘭保健所健康支援係（☎0143-2419846）
- 問合せ (事前予約必要) 5月12日(火) 13時

寄 附

善意のご寄附ありがとうございます。●町への寄付
▽アライ地所棟（荒井保明取締役社長）は40万円

- 日時 4月18日(土) 9時30分
- 場 所 洞爺湖観光情報センター3階
- 問合せ 社会教育課（☎74-3010）

お詫びと訂正

3月号のp2の「コミュニティFM4月開局」の記事で、問合せの1市3町CFM放送開局準備会の電話番号が間違っていました。正しくは☎0142-27222です。お詫びして訂正します。

●社会福祉協議会

△寄付・物品▽

▽山平ミツさん（虹1区）▽デイスービス遊（伊達市）▽虻田中学校生徒会▽洞爺湖観光情報センター▽洞爺湖温泉小学校



故宮崎チヨさん
■2月26日死去
■92歳 ■遺族は
栄さん ■温8区



故丹野幸太郎さん
■2月24日死去
■96歳 ■遺族は
恵子さん ■虹3区

国民健康保険に 加入の皆さんへ



平成27年度から

今月のフォーカス

国民健康保険税の税率等が 変わります

住民課国保医療グループ ☎74-3002

■国民健康保険税の概要

国民健康保険事業に要する費用にあてるための目的税で、次の3つの区分で構成されています。

- ①医療保険分…医療分の支払いにかかる課税額（加入者全員）
- ②後期高齢者支援金分…後期高齢者支援金等の納付に要する費用にかかる課税額（加入者全員）
- ③介護納付金分…介護納付金の納付に要する費用にかかる課税額（40歳～64歳までの加入者が対象）

■国民健康保険税の納税義務者

国民健康保険税の納税義務者は世帯主の方になります。世帯主が国民健康保険に加入していない場合でも、世帯中に国民健康保険の加入者がいる場合は、世帯主が納税義務者となります。

当町の国民健康保険財政は、医療費の増加が進む一方で保険税収入が減少するなど当該年度の収入で支出が賄えない赤字の状態が続き、その赤字相当分を町全体の財布である一般会計からの補てんを受けながら、平成23年度以降、税率等を改正することなく運営してきました。

しかしながら、国保会計の赤字は、毎年数千万円にのぼっています。このような、当町の財政状況を踏まえ、将来の安定的な運営の一助となるよう平成27年度から税率等を改正することにしました。町民皆様のご理解とご協力をお願いします。

税率等の改正内容

私たちは、日ごろ健康でも、いつ、どんなときに病気やケガをされるかわかりません。そんなときにそなえて、加入者の皆さんがふだんから保険税を出し合って医療費にあてる助け合いの制度が国民健康保険制度です。国保は、皆さんの住んでいる市町村が運営し、地域の健康生活を支えています。

税率等改正比較表（平成26年度⇒平成27年度）

区 分	加 入 者 全 員						40歳～64歳の加入者		
	医 療 保 険 分			後期高齢者支援金分			介 護 納 付 金 分		
	26年度 (現 行)	27年度 (改正後)	比 較	26年度 (現 行)	27年度 (改正後)	比 較	26年度 (現 行)	27年度 (改正後)	比 較
所得割	8.70%	8.70%	0.00%	1.90%	2.00%	0.10%	1.00%	1.10%	0.10%
資産割	23.40%	23.40%	0.00%	9.00%	9.00%	0.00%	4.90%	4.90%	0.00%
均等割	14,300円	16,000円	1,700円	2,700円	4,000円	1,300円	2,900円	4,500円	1,600円
平等割	23,500円	25,000円	1,500円	4,900円	6,000円	1,100円	3,300円	4,500円	1,200円
賦 課 限度額	510,000円	510,000円	0円	140,000円	160,000円	20,000円	120,000円	140,000円	20,000円

読書の家から



新刊案内

■あぶた読書の家

野口観光グループ50周年記念寄贈本

△一般▽50歳からは「孤独力」(保阪隆)▽ブラックホールが近づいたらどうなるか? (二間瀬敏史)▽僕が旭山動物園であった動物たちの子育て (山島哲雄)▽9割の人が栄養不足で早死にする (溝口徹)▽百年賢脳・健康法Ⅰそのサラダ油が脳とからだを壊してる (山嶋哲盛)▽百年賢脳・健康法Ⅱ認知症が嫌いなら油を変えよう (山嶋哲盛)▽ハケンアニメ! (辻村深月)▽日本でいちばん大切にしたい会社 (坂本光司)△人児

今月の1冊



「いのちはどこに
はいつてるの?」

作/竹内亨
画/早稲本雄二

人は死んでも生き返る」と思っている子どもたちが2割。「おもちゃだからいきかえったのよ」でも、人間は違うからね。いのちは、一度でもぬけちゃったらもう二度と、もどってこないんだからね。いのちの大切さをフタジックに描く。



■みずうみ読書の家

△一般▽願かけ(佐伯泰英)▽でんでら国(平谷美樹)▽狗

童書▽小学生のための文章レッスンなんかへんだを手紙で伝える(村中季衣)▽小学生のための文章レッスンラブレターを書こう(灰島かり)▽小学生のための文章レッスンみんなに知らせる(宮川健郎)▽キッズ生活探検おはなしシリーズ つたえよう・言葉と気持ち(斉藤洋とキッズ生活探検団・森田みちよ)▽つらいことから書いてみようか名コラムニストが小学5年生に語った文章の心得(近藤勝重)▽かばくん(岸田衿子・中谷千代子)▽詩 しんでくれた(谷川俊太郎・塚田康志)

■洞爺総合センター図書室

△一般▽群れない媚びないこうやって生きてきた(下重暁子・黒田夏子)▽工場(小山田浩子)▽後妻業(黒川博行)▽ブラックライダー(東山彰良)▽旅のラゴス(筒井康隆)▽この一句108人の俳人たち(下重暁子)▽抱擁家族(小島信夫)▽砂の女(安部公房)

ピノキオ読み聞かせ会

■日時 4月20日 14時30分
■場所 あぶた読書の家

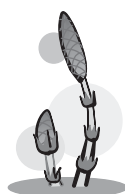
●開館時間

午前10時より午後4時20分まで
●4月休館日

16日・23日・29日・30日・5月3日・4日・5日・6日・7日
(毎週木曜日・祝祭日休館)

あぶた読書の家 ☎75・2100
みずうみ読書の家 ☎75・4702

わたしのうた



短歌

【あぶた短歌会】

三月定例会

豪雪で住み家が崩壊人命も

うしなわれたるをテレビがつたふ

吹かれきて道にかたよる老い老もて

身に春泥の思いかへりぬ

春の日は気ままのものよぬくき日の

あるかと思へば小雪ちらつく

四年すぎ大震災のつめあとに

苦しむ人らの復興願ふ

ホロホロと啼く声聞きて見上ぐれば

北へと向かふ白鳥の群れ

山木 孝

大西 芳子

北島 加代

太田 智

元田 フジ子

俳句

【あぶた俳句会】

三月定例会

主なき屋根にも優し春の月

古草やわたる日差しに鳥の群

うららかや馬の親子も嬉しそう

絵馬揺るるパワースポットの杜芽吹く

陽を浴びて小枝にしがみ木の芽吹く

春の空三十六色の中の青

梅が枝へ結びし神戴への字形

那須 伶子

菅原 敏子

三瓶 修子

矢野 知子

小笠原 勇

千葉 征子

佐藤 美風

第6期計画修正箇所

修正前	修正後
第4章 介護保険の取り組み 4. 地域支援事業 (2) 任意事業 P28 「②介護交流会」追記します。	② 介護交流会 P28 在宅で介護している家族の精神的負担の軽減を目的に、介護から一時的に解放するための介護者相互の交流会を実施しています。現時点では参加者が数名のため、次年度以降は周知や組織づくりに力を入れる予定です。
第5章 地域で安心して暮らし続けるために 5. 介護予防・日常生活支援総合事業の実施 ② 生活支援サービスの充実 P44	ひとり暮らしや夫婦のみの高齢者世帯の増加に対応し、見守り・安否確認・買い物・調理・掃除などの日常生活の支援が必要な高齢者が、安心して地域で自立し暮らし続けるための多様な生活支援サービス等を整備していきます。 様々な生活支援サービスを担う事業主体と行政とが事業実施に向けた協議をする場を設け、担い手の育成、関係者のネットワーク化、ニーズとサービスのマッチングを担う「生活支援コーディネーター（地域支え合い推進委員）」の設置などを通じ、多様な生活支援や社会参加のニーズに応えられる地域の支え合い体制づくりをめざします。
第5章 地域で安心して暮らし続けるために 「7. 高齢者の交通安全と防犯対策」追記します。P45	7. 高齢者の交通安全と防犯対策 P45 第5章 地域で安心して暮らし続けるために（P45）のパブリックコメントで寄せられた「6. 安全な外出確保及び交通事故被害の防止を追記したらどうか」ということに対するまちの考え方として記述した内容と同様とします。

子ども・子育て支援事業計画パブリックコメント及び住民説明会での意見

平成27年2月10日から平成27年2月28日まで行ったパブリックコメントについて、2件の要望がありました。

要望意見

- ①異世代間の交流をぜひ行ってほしい。
- ②一時預かり、病児・病後児保育のサービスを実施してほしい。

町の考え方

- ①子どもの自主性・創造性・社会性を高めるための体験活動及び児童健全育成事業の中で異世代交流等も含め、内容等の充実を図っていきたいと考えています。
- ②一時預かり事業は、現在、子育て支援センターで乳幼児を一時的に預かる事業の実施をしており、また、幼稚園においては、園児を対象に預かり保育を実施しています。今後については、洞爺湖温泉地区、洞爺地区

区での事業実施についても検討していきます。病児・病後児保育事業については、本計画期間中の事業の実施に向け、病院などと協議を行っていきます。

この回答については、町ホームページ及び役場健康福祉課、温泉支所、洞爺総合支所各窓口に回答書を備え付けていますので、確認してください。

平成27年2月18日と20日の2日間、同計画に係る住民説明会を開催しました。

説明会での意見の中で、当日お答えできなかったものについては、パブリックコメントと同様の対応をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

パブリックコメントで要望を提出された町民の方や住民説明会に出席された皆さんに対して、大変貴重なご意見をありがとうございました。

健康福祉課福祉・高齢者グループ（☎74-3001）



第6期洞爺湖町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画(素案)

パブリックコメントの結果 を公表します



洞 爺湖町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画(素案)に対するパブリックコメントの募集に対し、1人の方(30代)から3件の意見が寄せられましたので、同意見と町の考え方を紹介します。

2月23日の第5回介護保険運営協議会で審議を行い、パブリックコメントの意見をもとに、計画の修正を行いました。

■問合せ 健康福祉課 介護保険グループ
☎74-3001

応募意見

まちの考え方

●意見の内容

第3章 高齢者福祉のとりくみの4.民間福祉活動(P12) (3) ボランティア活動の推進を追記したらどうか。

P1下段の文言にボランティアや地域住民の支え合いの果たす役割に注目が集まっている。「①孤立しがちなひとり暮らし高齢者などに対する見守りや②日常的な助け合い活動等を活性化させることが重要」と記されているが、もう少し踏み込んだ内容の提示があってもいいかと思います。

上記①②も含め町内の各種ボランティア、NPO等の活動の参加を促進するとともに、定年後の方(団塊世代)など人生経験豊富な元気で活力のある高齢者が種々の興味のあるボランティア活動に主体的に取り組めるよう広報など様々な手段を通じて社会参加を促すようにしていってほしいと思います。

これからのことを考えると元気な高齢者は増えてくるので、こういった社会活動が高齢者自身の健康づくりや介護予防にもつながっていくと思います。

その方々の腰をあげてもらうためには、特典やポイント制などを導入して積極的に関わられるように環境整備が大切だと考えます。

ご指摘のとおりボランティア活動の推進に関する具体的な記載が少なかったと思います。公的サービスでは支援できない部分の支援や高齢者がボランティア活動をすることで社会参加や健康増進を図り、生きがいつくりや介護予防につながると考えています。また、高齢者等のボランティア活動に対する動機づけを高めるため、ポイント制度を取り入れることについても、他市町村の効果的な取り組みを参考に検討しています。

第6期計画においては、(P44～P45)、第5章 地域で安心して暮らし続けるために 4.介護予防・日常生活支援総合事業の実施②生活支援サービスの充実において、高齢者の在宅生活を支えるため、ボランティア、NPO、民間企業など多様な主体を活用して高齢者の生活支援サービスを整備していくことや「生活支援コーディネーター(地域支え合い推進委員)」の配置を通して高齢者の社会参加と地域における支え合いの体制づくりをしていくことをめざしています。

●意見の内容

第4章 介護保険のとりくみ 4.地域支援事業(2)任意事業(P28) ④家族介護教室を追記したらどうか。

高齢者を介護している家族の方などを対象に、介護に関する知識や技術などについて学ぶための教室や介護者相互の交流を図るための介護者同士の情報交換会や交流会を開催し、介護者が日常感じている悩みや疑問点またはストレスの解消に役立たせたらどうか。医療職や介護技術職など関係機関の方々を講師として、堅苦しくない雰囲気で開催できたら良いかと考えます。

現在、「介護交流会」という名称で、在宅で介護している家族の精神的負担の軽減を目的に、介護から一時的に解放するための介護者相互の交流会を実施しています。現時点では参加数が数名のため、まず次年度以降周知や組織づくりに力を入れる予定でいます。

介護に関する教室としては、介護予防普及啓発事業(P28の⑥)の中で介護予防講演会等で開催していますが、介護を学ぶ機会としては、交流会の方でも希望があれば講師を調整し開催していきたいと考えています。

●意見の内容

第5章 地域で安心して暮らし続けるために(P45) 6.安全な外出確保及び交通事故被害の防止を追記したらどうか

高齢者が安全に外出でき、また、交通事故を起こすことがないよう老人クラブ、自治会、警察等と連携を図り、出前講座やシルバー交通安全教室など、各種研修会の開催と会報等を通じた啓発活動を実施する。また、高齢者を狙う悪質な犯罪の未然防止を図り、地域における安全・安心できるまちづくり活動を進め、高齢者の生活全般に対する様々な不測の事態から生活を守る取り組みを推進できたら良いかと考えます。

急速な高齢化の進展に伴う高齢者の交通事故抑止のため、高齢者自らが交通ルールの遵守と交通マナーの実践を習慣づけ、交通安全意識の向上を図るよう関係機関と連携し取り組みを推進します。また、高齢者の消費者被害や高齢者が被害に遭いやすい振り込め詐欺など、加齢に伴う判断力の低下や悪質業者の手口の巧妙化などにより被害が増えています。広報や啓発活動にとどまらず、家族や地域全体による高齢者の見守りが重要と考えることから、各団体等の取り組みについて支援をしていきます。

(全文「7.高齢者の交通安全と防犯対策」として追記します)



消防だより 119

春の全道火災予防運動

4 月20日～30日までの11日間
にわたり、全道一斉に春の
火災予防運動が実施されます。

この運動は、冬から春へと季節
が移り変わることで空気が乾燥
し、火災が特に発生しやすいな
る時季を迎え、火災予防への啓
もうを図り、火災の発生を防止
し、死傷事故や財産の損失を防
ぐことを目的として実施されま
す。

洞爺湖支署では期間中、消防
車両による火災予防広報や午後



7時にサイレン吹鳴など、安全
で安心な街づくりを目指し、各
種行事を予定していますのでご
協力をお願いします。

火入れの時季 野火に気をつけよう



春は、新しい息吹が芽生える
とともに、枯れ草が目につく季
節でもあります。この時期は空
気が乾燥しており、農地等での
枯れ草焼きの最中に周囲に一気
に燃え移るなど、ちょっとした
火の不始末で火災になる危険性
が高く、消防車の出動する機会
が多い時季でもあります。
火入れを行う場合は、まず洞

爺湖町役場（環境課）へ焼却内
容の連絡を行い、消防署へ実施
場所や氏名・住所などを届出し
てください。

火災予防広報PRに 虹中生徒へ協力依頼

洞爺湖支署では春・秋の火災
予防運動期間中、消防車両によ
る広報活動を行ってきましたが、
虹田中学校の若木七星さん（3
年生）、斎藤茜音さん（2年生）
に広報文の録音を依頼し、広報
用アナウンスを更新しました。

町民の皆さんが火災予防への
理解と関心をさらに深めてもら
う目的で作成。

4月20日から始まる「春の火
災予防運動」の車両広報に使用
される予定です。
ご協力いただいたお二人には、
心から感謝します。

防火管理者を 選任しましょう

消防法では、一定規模のホテ
ル・病院・福祉施設・学校など
の防火対象物で火災等の災害が
発生すると、人命への被害が大
きくなる恐れがあることから、
防火に関する講習課程を修了し
た人などを防火管理者として選



任し消防計画を作成しなければ
なりません。

すでに防火管理者を選任して
いる防火対象物においても、人
事異動等により変更が生じてい
る場合などは変更届出を提出し、
併せて消防計画の変更も必要と
なります。

防火管理者の選任（変更）や
消防計画についての問い合わせは
最寄りの消防署まで連絡願いま
す。

統一標語

「もういいかい
火を消すまでは
まあだだよ」

fire

平成27年1月1日～
2月28日現在

●火災件数 1件
●救急件数 96件

市民農園利用者募集

- 開園期間 5月上旬頃から10月31日
- 開園場所 洞爺湖町香川
- 借地料 1区画当り30㎡ 3,000円
- 募集区画数 70区画数
- 申込み期限 4月24日（金）まで
- 問合せ 農業研修センター「アグリ・とれた」☎89-3000
- ◆休憩施設・小農機具・給水施設・駐車場有
- ◆畑は、区画され、貸与時に耕起しますが、それ以後は各自でお願いします。



告 白



健康福祉センターさわやか ☎76-4006

他人事ではない！

身近な病気 大腸がん



「がん」と聞いて、みなさんはどのようなイメージを抱きますか？

近年では、日本人の2人に1人が生涯でがんにかかり、3人に1人ががんで亡くなっており、日本人の死因で最も多い病気です。平成25年の厚労省人口動態統計では、特に大腸がんにかかる人は、30年間で約6倍近くに増え、死亡者数は全てのがんの中で、男性で3位、女性で1位になっており、1年間で4万7000人以上の人が命を落としています。

大腸がんが増えている一方で、早期に発見し治療が行われれば、90%以上完治するもののがんです。しかし、早期ではほとんど自覚症状を感じることはありません。早期発見のためには大腸がん検診を受けることが最も有効な手立てですが、日本はがん検診受診率が低いのが現状です。「時間がない」「出血は痔が原因だ」など様々な理由で健診を受けない人がいます。

大腸がん検診で見つかるがん

の60%は、完治が見込める早期がんです。一方で、自覚症状や異常が出てから病院で見つかるがんの80%は進行がんといわれています。特に大腸がんの発生が増加する40歳以上の方には、年1回、検診を受けることを強くお勧めしています。

洞爺湖町も例外ではありません！

町の現状（主に集団検診の現状）としては、①町の集団検診では、大腸がんの方が年に1、2名ほど発見されています②発見されている方は50歳代、80歳代まで幅広くいます③比較的男性の方が多く発見されています④国の目標受診率は50%以上ですが、洞爺湖町の大腸がん検診受診率は22・5%（H25年度）とまだ低いです。

まずは手軽にできる便潜血反応検査を受けましょう

一般的に検診で取り入れられている簡単な検査方法です。大腸にがんやポリープ（腫物）ができる、便が大腸を通過する際に接触して出血し、便に血液が混じることがあります。便潜

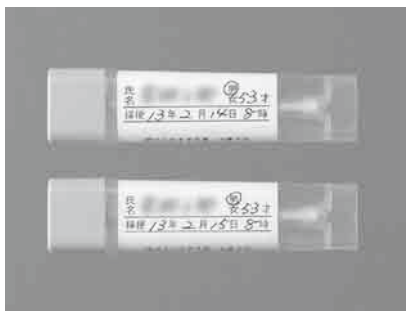
血反応検査は、便に血液が混じっていないかどうかを調べ、大腸がんのリスクがある人をふるいわけの検査です。

検査方法は、自宅で専用の検査容器を使って、ご自身で便の表面をこすって一部分を採り、検診を受診する病院や健診機関に提出するだけです。2日分（2回分）採便することで、見逃しを防ぎます。

この検査で「陽性（血が混じっている）」と判断された場合、がんに限らず何らかの疾患の疑いがありますが、出血の原因が何の疾患であるかまでは判別できません。そのため、「陽性」と判断された場合は、必ず精密検査を受けてください。また、1度陰性であっても、その後必ずつと安心なわけではありません。自己判断で放置せず、毎年定期的に検診を受けることを習慣と

し、大腸がんの早期発見・治療につなげましょう。

＜採便容器＞



表面をまんべんなくこすり取るだけ！



集団健診

（特定健診・がん検診）の

お知らせ

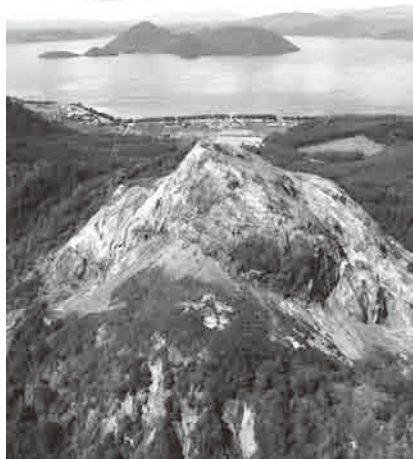
■日程・会場

5月27日(水)・28日(木)
健康福祉センターさわやか
5月29日(金)
洞爺ふれ愛センター

◆事前に予約が必要です。
詳しくは回覧チラシをご覧ください

◆問合せ・申込み
健康福祉センターさわやか ☎76-4006

ようこそ！洞爺湖有珠山ジオパークへ！！



私たちが暮らす自然豊かなこの地域は、2009年に「世界ジオパーク」の認定を受けた地域です。

穏やかに広がる洞爺湖は、約11万年前の巨大な噴火でできたもの。以来、この地域では火山活動がくりかえされ、大地をつくってきました。洞爺湖有珠山ジオパークは、変動する大地と共生する人間の歴史を、さまざまな方法で楽しむことができる地域なのです。

この『ジオパーク通信』では、洞爺湖有珠山ジオパークについて、その成り立ちや、見どころ・楽しみどころ、最新のジオパーク情報をお知らせしていきます。

Q. ジオパークって何？

A. 「ジオ」は英語で「地球」という意味。ジオパークは「地球を楽しむ地域」のこと。日本には、洞爺湖有珠山地域を含め36のジオパークがあります。そのうち、世界ジオパークに認定されているのは7地域のみ。洞爺湖有珠山はそのうちの一つです。

Q. 何があるの？

A. 公園といっても遊具があるわけではありません。大地の恵みを味わったり、散策路で「大地の変動」を感じたり、各種施設で大地の成り立ちについて学ぶことができます。

ジオパーク Q&A

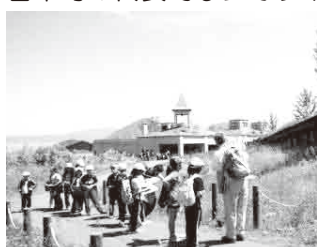
伊達市・豊浦町・壮瞥町・洞爺湖町の4市町全域が洞爺湖有珠山ジオパークとして認定されています。



Q. 洞爺湖有珠山地域の、どこがすごいの？

A. まず、活火山である有珠山のこんなに近くで、たくさんの人が暮らしていること。実はこれは世界でも珍しいことです。それだけでなく、景色や温泉、美味しい食材は観光資源にもなっていて、たくさんの観光客も訪れています。さらに、地元には各種のガイド団体があり、希望に合わせて案内、解説をしてくれることも、大きな魅力のひとつです。この地域では、地球が作った大地と、その恵みを受けながら生きてきた人間の歴史を楽しむことができます！

各市町の代表的なジオサイト（みどころ）



金比羅火口災害遺構散策路(洞爺湖町)



昭和新山(壮瞥町)



カムイチャシ(豊浦町)



有珠善光寺(伊達市)

4月の健康・子育て・イベントカレンダー



日(曜)	行 事	時 間	場 所
10日(金)	洞爺地区健康相談	9:30~11:30	洞爺総合支所 (☎82-5111)
17日(金)	洞爺地区健康相談	9:30~11:30	洞爺総合支所 (☎82-5111)
22日(水)	保育所開放	10:00~11:30	本町保育所 (☎76-2673)
24日(金)	保育所開放	10:00~11:30	本町保育所 (☎76-2673)
30日(木)	乳児健診	13:30~	健康福祉センター (☎76-4006)
5月1日(金)	洞爺地区健康相談	9:30~11:30	洞爺総合支所 (☎82-5111)
7日(木)	フッ素塗布	13:00~	洞爺ふれ愛センター (☎76-4006<さわやか>)
8日(金)	洞爺地区健康相談	9:30~11:30	洞爺総合支所 (☎82-5111)
	保育所開放	10:00~11:30	本町保育所 (☎76-2673)

防災訓練実施 要支援者にも対応

2000年有珠山噴火から15年を迎え、次の噴火に備えようと3月25日、有珠山噴火を想定した防災訓練が行われました。

対象となったのは、洞爺湖温泉、泉、入江の各地区2,100世帯3,958人で、住民や消防、警察、自衛隊、福祉関係、職員など総勢約300人が参加しました。

自力での避難が難しい避難行動要支援者宅にも職員が個別訪問し、うち男性1人を地域交流センター内に開設された福祉避難所に救急車で搬送しました。

同避難所は、平成26年度北海道地域づくり総合交付金を活用して備品の整備を行い開設しました。

参加した住民は「福祉避難所が開設され、安心して避難できる」と安どの表情を浮かべていました。

本部会議の総評で真屋町長は「地域社会を守るということを責務としてしっかり取り組んでもらいたい」と職員を鼓舞しました。



福祉避難所に避難行動要支援者を収容する救急隊員



山口 結平くん
(ゆうへい)

亮平さん・綾乃さん
1月25日生 入4区



ご家族の深い愛情につつまれて誕生したプリンスのご紹介です。ご家族は「早く大きくなーれ」と成長を楽しみにしていることでしょう。いろいろな可能性を秘めて、洞爺湖町に誕生した赤ちゃん。その純粋な瞳は何を見つめているのでしょうか？



田村 凌大くん
(りょうた)

俊平さん・一子さん
1月31日生 虻4区



恵良 勇吹くん
(いぶき)

駿一さん・麻奈美さん
1月26日生 虻4区

新入職員 紹介



佐藤 ひかる
(企画防災課)



谷 永智 崇
(上下水道課)

①洞爺湖町②30歳③釧路公立大
学④ギター、釣り⑤先月まで札幌市で公安職をしていました。住民の皆さんや洞爺湖町を応援してくださる皆さんの思いを受け止め、誠心誠意努力いたします。

①出身地②年齢③最終学歴
④趣味⑤抱負

①壮瞥町②18歳③伊達緑丘高校
④読書⑤1日も早く仕事を覚え、町民の皆さんが親しみやすい職員となれるよう、努力したいと思います。

こども体操教室洞爺湖ジュニアクラス

代表 齋藤 学さん 会員16人



こども体操教室洞爺湖ジュニア教室は、5年くらい前からボランティアとして伊達で開いていた子ども教室の活動を拡大する狙いで、齋藤さん自身が住んでいる洞爺湖町で昨年3月から始めました。

当初のきっかけは「子ども達が活動する場所が少なくなつて、身体能力が低下してきている」と感じた齋藤さんが、高校での体操経験をいかして同教室を開くことに決めました。

体操で培う基本的運動能力は、どんなスポーツにも共通する基礎的なものです。

園児から小学5年生までが通つてきていて、内容は、マット、トランポリン、鉄棒、ボール遊びなど基礎体力作りが主なものとなっています。

参加している子どもたちは、「とび箱が飛べるようになった」「体操の授業でほめられた」などと「できなかったことができるようになる」楽しさを一様に話してくれました。

活動は、現在月1回水曜日、19時10分～20時30分まで虻田小学校の体育館で行っています。齋藤さんは「今後教室を拡大し、大人向けの介護予防につなげる教室などを開き、地域に貢献したい」と語ります。

子ども教室の活動に興味、関心がある方は、代表の齋藤学さん（☎080-1879-8120）まで連絡ください。

東奔西走

平成27年度が始まりました。新しい気持ちで、広報作りに励んでいきたいと思っています。

町民皆さんからの情報をお待ちしています。

昨年、箱根町との姉妹提携50周年を祝して、記念式典などいろいろな事業を行いました。その一つとして記念誌を作製しましたので、ご希望の方は、広報・統計グループまで連絡ください。（H.O）

人口と世帯の動き 2月28日現在（先月比）

男	4,414人(△ 3)
女	5,080人(△10)
計	9,494人(△ 7)
世帯	5,043世帯(△ 6)

今月のワンショット



卒業シーズン
虻田小学校の卒業式で卒業証書を授与される児童